

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科(昼夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	言語発達障害Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼夜間部1年生		学期及び曜時限	後期 水7限他	教室名	401
担 当 教 員	松井 吉裕	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
脳性麻痺全般の知識と戦略の習得を目標とすることで中枢神経疾患の治療に役立てていく						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験を実施し、100点満点で60点以上を合格とする						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
指定なしで、適宜参考文献を紹介する						
《授業外における学習方法》						
脳性麻痺を学習する上で必要不可欠な人間発達学をあらかじめ確認しておくことと理解しやすい						
《履修に当たっての留意点》						
脳性麻痺のみならず特に摂食嚥下機能に必要な臨床に役立つ体全体の特性について講義します						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の治療に必要な発達の知識(発達概論)を説明することができる	レジюме	人間発達に関する知識を整理しておく	
		各コマにおける授業予定	発達の知識の基礎となる概念や理論を学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の治療に必要な発達の知識(胎児・新生児)を説明することができる	レジюме	人間発達に関する知識を整理しておく	
		各コマにおける授業予定	胎児・新生児の発達の知識を学ぶ 運動学的知識も合わせて指導する			
第3回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	小児の治療に必要な発達の知識(反応の実技)①を説明することができる	レジюме	人間発達に関する知識を整理しておく	
		各コマにおける授業予定	治療を行う上で必要な立ち直りやバランス反応を実技を通して習得する			
第4回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	小児の治療に必要な発達の知識(反応の実技)②を説明することができる	レジюме	人間発達に関する知識を整理しておく	
		各コマにおける授業予定	治療を行う上で必要な立ち直りやバランス反応を実技を通して習得する			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の治療に必要な発達の知識(乳幼児)①を説明することができる	レジюме	人間発達に関する知識を整理しておく	
		各コマにおける授業予定	乳幼児の発達の知識を学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の治療に必要な発達の知識(乳幼児)②を説明することができる	レジュメ	人間発達に関する知識を整理しておく
		各コマにおける授業予定	乳幼児の発達の知識を学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳性麻痺の知識を得る上で必要な基礎知識①を説明することができる	レジュメ	レジュメを予め読んでおく
		各コマにおける授業予定	脳性麻痺に対する基礎的な知識を学ぶ(分類、PVLなど)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳性麻痺の知識を得る上で必要な基礎知識②を説明することができる	レジュメ	レジュメを予め読んでおく
		各コマにおける授業予定	脳性麻痺に対する基礎的な知識を学ぶ(分類、PVLなど)		
第9回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	脳性麻痺の摂食嚥下障害の基礎知識を説明することができる	レジュメ	レジュメを予め読んでおく
		各コマにおける授業予定	脳性麻痺の摂食嚥下障害を理解するための基礎知識を習得する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	痙直型脳性麻痺児の知識①を説明することができる	レジュメ	レジュメを予め読んでおく
		各コマにおける授業予定	痙直型四肢麻痺児の知識を習得する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	痙直型脳性麻痺児の知識②を説明することができる	レジュメ	レジュメを予め読んでおく
		各コマにおける授業予定	痙直型両麻痺児、片麻痺児の知識を習得する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	アトローゼ型脳性麻痺児の知識を説明することができる	レジュメ	レジュメを予め読んでおく
		各コマにおける授業予定	アトローゼ型脳性麻痺児の知識を習得する		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	失調型・弛緩型脳性麻痺児の知識を説明することができる	レジュメ	レジュメを予め読んでおく
		各コマにおける授業予定	失調型・弛緩型脳性麻痺児の知識を習得する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	重度心身障害児・者の知識①を説明することができる	レジュメ	レジュメを予め読んでおく
		各コマにおける授業予定	重度心身障害児・者の知識①を学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	重度心身障害児・者の知識②を説明することができる	レジュメ	レジュメを予め読んでおく
		各コマにおける授業予定	重度心身障害児・者の知識②を学ぶ		